



YAKUDOL

No.73

第19回体協ウォーキング
薩埵峠にて絶景を堪能！



平成27年度 公益財団法人静岡市体育協会表彰

功労章・優秀指導者章・優秀選手章・優秀団体章

功労章

18名



岩本千鶴子

静岡市弓道連盟

平成3年から、静岡市中央体育館の弓道教室指導員として活躍。

メリハリのあるわかりやすい指導法には定評があり、教え子の中には静岡県代表として国体に出場した選手も多く、これまでに静岡市の弓道発展に寄与された功績は多大である。



勝瀬善光

静岡市剣道連盟

幼少より様々な武道を修め、剣道、居合道など多くの大会で輝かしい成績を残す。

現在は、水鷗流本部碧雲館道場にて後進の指導にあたるとともに、水鷗流古伝武道大会を開催するなど、様々な面から日本武道の振興に尽力している。



松永義夫

静岡市山岳連盟

平成16年に静岡市山岳連盟の会長に就任、連盟の運営において統率力を発揮し、数多くの事業を行う。

平成20年からは静岡市体育協会の評議員として、協会の発展および静岡市のスポーツ振興に顕著な功績を残している。



前嶋孝志

静岡市サッカー協会

NPO法人清水サッカー協会において常任理事などを歴任し、長年にわたり協会の強化・育成の中心的存在として活躍。

長谷川健太氏や市川大祐選手をはじめとした数多くの日本代表選手を育成し「サッカー王国清水」の礎を築いた。



熊谷幸洋

静岡市柔道連盟

柔道の「形」に関心が強く、形の上達に精力をつくしており、現在は全日本柔道連盟公認形審査員の5つの形の資格を保持している。毎月開催される講道館の形研修会にも参加し、常に実力の向上を図る熱心な柔道家である。

講道館柔道 七段



鳥居裕史

静岡市水泳協会

昭和50年全国中学校大会100m平泳ぎで日本中学記録を樹立して優勝した時田英雄氏をはじめ、全国で活躍する数多くの優秀な選手を育成した。

現在、一般社団法人静岡県水泳連盟会長として活躍、水泳界に無くてはならない存在である。



小林兼吉

静岡市相撲連盟

由比において30年以上にわたり、小学生・中学生を中心として相撲の指導を行う。

相撲道理論に精通しており、指導において礼儀や時間を守ることなどを重視して指導を行う姿勢から、多くの相撲教室関係者から厚い信頼を寄せられている。



鈴木敏幸

静岡市ソフトテニス協会

静岡市ソフトテニス協会、静岡県ソフトテニス連盟の要職を長年にわたり務め、協会及び連盟の維持発展のため、各種大会の準備や運営に多大な貢献をしている。

また、市テニス協会のホームページの管理を担い、広報活動に努めている。



柴田 豊

静岡市バスケットボール協会

清水市バスケットボール協会の理事長在任中に、会員の立場に立った企画・運営に心を砕き、合併後には副理事長に就任すると、今までに培ったノウハウを活かし、現在の静岡市バスケットボール協会の礎を築きあげ、静岡市バスケットボールの普及・発展に寄与している。



浅野 孝

静岡市野球連盟

平成 18 年に理事長に就任し、社会人チームや少年野球チームの育成に尽力、連盟の発展に貢献している。

また、静岡市体育協会においても理事、評議員を歴任し、競技の垣根を越えて静岡市のスポーツ振興のために活躍している。



内田光英

静岡市陸上競技協会

静岡女子商業高等学校に奉職以来、陸上競技部の監督として選手の育成にあたり、鈴木治美選手をはじめ、インターハイ、国体で活躍する選手を多数輩出した。

現在は、静岡県市町対抗駅伝競走大会事務局長に就任し、大会の企画運営に積極的に貢献している。



築地次満

静岡市ソフトボール協会

審判員として試合に臨み、優れた技術と人格を発揮し、その重責を長年にわたって果たしてきた。

平成 23 年には公認審判員として審判活動に長年尽力した功績が認められ、財日本ソフトボール協会より「終身審判員」の称号を授与されている。



杉山守由

静岡市スケート協会

ヤングランドスケート場にて清水市スケート協会主催のスケート教室で指導を行い、多くの優秀な選手を輩出してきた。

平成 16 年の静岡、清水の両協会の合併には委員として参画。スムーズな合併の実現に尽力するなど、スケート界の発展に貢献している。



水鳥見香

静岡市体操協会

母校の新体操コーチとして優れた手腕を発揮し、多くの優秀な選手を世に送り出した。

現在は水鳥体操館において他の指導者と共に一丸となり、日本を背負って立てる選手の育成をめざし、努力を続けている。



横井弘吉

静岡ラジオ体操連盟

平成 14 年に丸子中央ラジオ体操会の会長に就任し、これまでに民生委員や町内会長を務めあげた経歴を活かし、競技人口の拡大のみならず、長田地区の発展と健康増進に尽力してきた。

現在は静岡ラジオ体操連盟の監事として運営に貢献している。



岩瀬信一郎

静岡市ダンススポーツ連盟

平成 11 年に静岡市ダンススポーツ連盟が設立されると副会長に就任。静岡、清水両連盟の合併後は、組織の一体化を進め、連盟のさらなる発展、充実に貢献した。

現在は、監事を担い、連盟の実施する各種行事の運営に積極的に貢献している。



上山和江

静岡市武術太極拳連盟

平成 13 年に静岡市武術太極拳連盟の常任理事に就任すると、新静岡市武術太極拳連盟の発足に向けた静岡、清水両連盟の合併会議において尽力し、多大な貢献を果たした。合併後も引き続き監事、理事として連盟の運営に活躍している。



良知國保

静岡市スポーツ少年団

平成 4 年から清水市スポーツ少年団の本部委員として、清水市の青少年の健全育成にスポーツを通じて貢献。

平成 17 年の静岡市スポーツ少年団との合併後も引き続き本部委員として積極的に活動、少年団の運営・発展に情熱を注いでいる。



優秀指導者章
31名



向井由美子

静岡市弓道連盟



杉山 彰

静岡市剣道連盟



高橋文也

静岡市剣道連盟



田中行男

静岡市山岳連盟



増田浩二

静岡市山岳連盟



工藤輝人

静岡市サッカー協会



斎藤 誠

静岡市サッカー協会



加賀谷 保

静岡市柔道連盟



金原伸尚

静岡市柔道連盟



秋山幸弘

静岡市水泳協会



保崎高宏

静岡市水泳協会



河野晋作

静岡市相撲連盟



飯田 誠

静岡市ソフトテニス協会



志村保明

静岡市ソフトテニス協会



青木良浩

静岡市ハースケットボール協会



佐々木靖之

静岡市ハースケットボール協会



渡辺 勝

静岡市野球連盟



鍋田賢一郎

静岡市野球連盟



和田一人

静岡市ラグビーフットボール協会



吉川 紳

静岡市陸上競技協会



赤堀順一

静岡市陸上競技協会



吉田裕行

静岡市ソフトボール協会



前田正太郎

静岡市ソフトボール協会



川島孝司

静岡市体操協会



新海 亘 広

静岡市体操協会



佐藤 照 夫

静岡ラジオ体操連盟



桑山 澄子

静岡ラジオ体操連盟



帆 足 幹 夫

静岡市空手道連盟



望 月 顕 枝

静岡市武術太極拳連盟



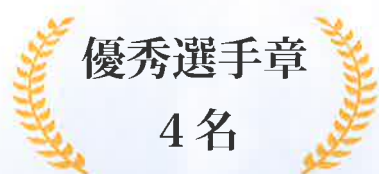
亀山 瑛子

静岡市武術太極拳連盟



緑 川 武

静岡市スポーツ少年団



優秀選手章

4 名



杉 山 華 彩

静岡市水泳協会

大会名 平成 27 年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
兼 第 83 回日本高等学校選手権水泳競技大会

期 日 平成 27 年 8 月 17 日～ 8 月 20 日

会 場 京都アクアリーナ

記 録 100 m 背泳ぎ 優勝 200 m 背泳ぎ 優勝



鈴 木 大 葉

静岡市体操協会

大会名 2015 全日本ジュニア体操競技選手権大会

期 日 平成 27 年 8 月 13 日～ 8 月 14 日

会 場 横浜文化体育館

記 録 男子 A クラス個人総合 優勝 種目別 鞍馬 優勝



村 上 瞳

静岡市体操協会

大会名 2015 全日本ジュニア体操競技選手権大会

期 日 平成 27 年 8 月 13 日～ 8 月 14 日

会 場 横浜文化体育館

記 録 女子 A クラス種目別 跳馬 優勝 平均台 準優勝



芦 川 う ら ら

静岡市体操協会

大会名 2015 全日本ジュニア体操競技選手権大会

期 日 平成 27 年 8 月 13 日～ 8 月 14 日

会 場 横浜文化体育館

記 録 女子 A クラス種目別 平均台 優勝 個人総合 準優勝



優秀団体章 1 団体

静岡県立
静岡中央高等学校
サッカー部
静岡市サッカー協会

大会名 平成 27 年度全国高等学校定時制通信制体育大会
第 25 回サッカー大会
期 日 平成 27 年 8 月 7 日～8 月 11 日
会 場 清水ナショナルトレーニングセンター 他
記 録 優勝

監 督 村松聖俊
代 表 水元文雄
選 手 中山直也・野末健悟
伏見大輝・富田雄介
山口誠也・漆畑紅樹
中村晃士・丸山翔也
高林拓実・金塚 晃
岩崎 峻・寺田剛基
阿保匠悟



市政功労章



教育文化功労



静岡市武術太極拳連盟 副会長
志田 均

昭和 56 年、清水市太極拳協会を故・長阪前会長と
共に設立し、副会長に就任。市内に次々と教室を開設
し、愛好者の増加に奔走する。その後、昭和 62 年に
会長に就任。

平成 5 年にはこれまでの実績から、静岡県武術太
極拳連盟より、市内の統括組織の設立の要請を受け、
太極龍紫蓮と協力し清水市武術太極拳連盟を設立す
る。

静岡清水の両協会の合併に際しては新体制へのス
ムーズな移行に尽力し、以降は理事長として会員の
技能向上や連盟内の親睦に力を入れた。平成 27 年に
副会長に就任。

なお、平成 10 年より静岡県武術太極拳連盟の副会
長も合わせて務めており、県・市のスポーツ振興に
活躍している。

第19回体協ウォーキング



平成27年11月29日(日)に第19回体協ウォーキングが開催されました。今回は古来より多くの人々に景勝地として親しまれてきた、薩埵峠を中心として、興津駅から由比駅までの約10kmのコースを参加者の皆様と歩きました。



当日は天候に恵まれ、まさにウォーキングをするのに絶好の環境でした。

スタートの興津駅を出発し、30分ほど歩くと、薩埵峠の入り口に到着。そこから、階段を上り、しばらくすると、視界が一気に開け、富士山と駿河湾が我々を歓迎してくれました。波も穏やかで、駿河湾の向こうに伊豆半島も見ることができました。

薩埵峠の展望台から見る雄大な景色は、歌川広重の「東海道五十三次」にも描かれている名所であり、江戸時代の景色をほぼそのまま現在まで伝えている国内でも数少ない名勝になります。ここから見る富士山にはなんともいえない美しさがあり、訪れた方々はどなたも思わず見とれ、感嘆の声を上げていました。



薩埵峠の展望台を過ぎた後は、下り坂が続く、由比倉沢地区、寺尾地区を通り抜けて由比駅まで歩きました。こちらの地区には旧家が多く、江戸時代の面影を感じさせる街並みに、参加者からも「身近にこんな風情のあるところがあったとは!」と地元の魅力の再発見が出来たようです。



由比駅で休憩をとったあとは、「由比桜えび通り」を通り抜け、昼食休憩所の由比本陣公園まで一気に歩きました。昼食後は、公園内にある「東海道広重美術館」、由井小雪の生家と伝わる「小雪紺屋」をはじめ、周辺のお土産屋さんや商店を散策しました。参加者の中には、お土産に由比の港で水揚げされた、新鮮な桜海老やシラスなどの地場産品を買い求めた方もいました。

今回も参加者に事故や怪我もなく、無事に終了することが出来ました。ご参加いただいた皆様に感謝申し上げるとともに、全面的にご協力いただきました、静岡市山岳連盟の方々にはこの場を借りて改めてお礼申し上げます。



展望台へ続く道中にある階段



薩埵峠の展望台から見た富士山



国登録有形文化財 名主の家 小池邸



由比本陣公園で昼食休憩



NEW!!

託児付ママのシェイプアップ教室

期間：平成 27 年 11 月 20 日、27 日、12 月 4 日

会場：中央体育館 軽運動室

対象：産後 6 ヶ月～2 年未満の人（15 名）

産後 6 か月～2 年未満の人を対象に託児付の教室を行いました。

教室では体型を維持・スリムに出来る、エアロビクスや筋力トレーニングといった、体を動かす内容を中心に、保健師・保育士さんとの子育て相談も実施しました。

参加者からは、「子育てから解放されて、思い切り体を動かして心も体もリフレッシュして帰宅できた」、といった声を聞くことが出来ました。



NEW!!

子どもの体力向上推進プロジェクト 《 幼 児 体 操 教 室 》

期間：平成 27 年 11 月 11 日、18 日、25 日

会場：清水総合運動場 武道場

対象：幼稚園年中～年長（19 名）

先生と楽しく運動を行い、様々な体の動かし方を覚えることが出来るように、マット運動や、跳び箱、鉄棒を中心とした運動を行いました。

また、はじめと終わりのあいさつや、人の話をちゃんと聞くことができるよう、教室では約束事を作りました。

お母さま方からは、「友達と楽しく運動が出来てよかった」、「毎回子どもが楽しみに通っていた」、「次回はもっと長い期間開催してほしい」、などのご意見を頂きました。



NEW!!

子どもの体力向上推進プロジェクト 《リズム&チャレンジ教室》

期間：平成27年11月18日、25日、
12月9日、16日、18日

会場：中央体育館 アリーナ

対象：小学4年生～6年生（10名）

全部で5回に分けて、ソフトボール、バスケットボール、フットサル、バドミントン、器械運動などの様々な種目を行いました。運動が苦手な子供達にも楽しめるように、基本から一緒に勉強していく内容で行いました。

また、小学校6年生の子にとっては様々な種目が体験できたことにより、中学進学後の部活動の種目選択にもとても参考になったようです。



NEW!!

子どもの体力向上推進プロジェクト 《体を動かすのが大好きになる運動教室》

期間：平成27年12月4日、9日、16日、18日

会場：長田体育館 アリーナ

対象：小学2年生（12名）

小学2年生を対象に、リズム運動、ゲーム、フラフープやなわとび、Gボールを使って学びました。

また、特別講師として常葉大学短期大学部の田村元延 助教をお迎えし、Gボールを使ったバランス感覚を養うことの出来る様々な運動指導を行っていただきました。

子ども達は、日頃体験した事のないGボールにとっても興味を持ち、非常に楽しそうに運動していました。

Gボールとは…中に空気を入れて使うビニール製のボールです。ボールの上に座ったりすることで体幹筋を鍛えたり、バランス感覚を養うことが出来ます。



NEW!!

子どもの体力向上推進プロジェクト 《運動が苦手な子供のための運動教室》

期間：平成 27 年 12 月 4 日、18 日、
平成 28 年 1 月 8 日、15 日、22 日

会場：東部体育館 アリーナ (25名)

対象：小学 1～2 年生

各回の教室においてそれぞれ、「走る」、「投げる」、「飛ぶ・まわる」、などのテーマを設定し、その内容に沿った教室を行いました。

教室ではゲームなどを取りいれながら体を動かすことで、子ども達は運動を楽しみながら上達することができました。

また、今回は特別に、「投げる」教室では講師として静岡大学の赤田信一 准教授と常葉大学の矢野隆二 准教授をお招きし、工夫を凝らした素晴らしい指導をしていただきました。



NEW!!

正しく歩こう！ウォーキング教室

期間：平成 27 年 10 月 23 日、30 日、11 月 7 日

会場：西ヶ谷総合運動場 ジョギングコース

対象：学生を除く 18 歳以上の方 (13名)

講師の指導のもと、正しい靴の履き方から始まり、基本フォームの確認、個々に合った歩き方を学びました。

また、運動前と運動後に心拍数を図ることで自分にとって効果的な強度のウォーキングを理解して頂きました。

「これからウォーキングをはじめたいと思っていたのでとても参考になった」、「姿勢を正すことで猫背の解消になった」、といったご意見を頂きました。



のんびり・らくらく体操教室

- ① 期間：平成 27 年 10 月 14 日～12 月 9 日
会場：清水清見湯公園スポーツセンター 体育館
- ② 期間：平成 27 年 10 月 19 日～12 月 21 日
会場：中央体育館 剣道場
- 対 象：50 歳～74 歳までの方（① 39 名、② 30 名）

簡単なエクササイズや自重を使った筋力トレーニングなどを行い、健康維持や体力増進を楽しく行いました。

参加者からは「一人でも気軽に出かけ講座で出会った方と楽しく体を動かすことができた」、などのご意見を頂きました。

また、今回は近年、中高年の方々に起きている、「新型栄養失調」とはどのようなものかということと、その予防法についてもお伝えさせて頂きました。



やさしいヨガ教室

- ① 期間：平成 27 年 9 月 11 日～10 月 30 日
会場：北部体育館 柔道場
- ② 期間：平成 27 年 10 月 6 日～11 月 24 日
会場：清水総合運動場 武道場
- 対 象：20 歳以上の方（① 35 名、② 15 名）

昨年度大好評だったヨガ教室を、今年度は定員と会場を増やし開催しました。

教室では簡単なハタ・ヨガのポーズを実践し、体との対話などを行い、いつもの日常とは違った時間を楽しんでいただきました。

参加者からは、「ヨガを通じて心と体をゆったりさせることができて良かった」といったご意見を頂きました。



北部体育館 ふれあいスポーツDAY

平成27年11月7日(土)、北部体育館においてふれあいスポーツDAYを実施しました。

当日はクライミング教室、エアロビクス体験教室をはじめ朝市、地震体験車、スモークハウスなど、盛りだくさんのイベントを行いました。

特に近年流行しているクライミング教室、朝市、地震体験車には多くの人が集まりました。

今回のふれあいスポーツDAYには延べ1,800名を超える非常に多くの方にいらしていただきました。

イベントにご協力いただきました、関係諸団体の皆様には改めてお礼申し上げます。



スポーツ安全保険

安心して活動する為にスポーツ安全保険に入りませんか。

スポーツ、文化、ボランティア、地域、レクリエーション活動等における不慮の事故に備える保険です。

問い合わせ先：(公財)スポーツ安全協会静岡県支部

TEL 054-262-3039

※インターネットからも申込可能です。



スポーツ安全協会

検索



編集後記



『躍動』第73号発刊にあたり御協力をいただいた各種競技団体の皆様及び事務局に対し、心より感謝を申し上げます。

今号では、長年にわたりスポーツの振興と普及にご尽力され、このたび各種表彰を受賞された方々や団体を紹介させて頂いております。

また、各種事業報告では「子どもの体力向上推進プロジェクト」など、皆様のニーズにきめ細かく対応する新たな事業を紹介しております。

今後もスポーツの推進による健康で豊かな生活の実現を目標とし、更なるスポーツ振興と普及に貢献していきたいと考えておりますので、皆様の一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

調査広報委員 池川 茂・高須 修